

第17回全国病弱教育研究会全国大会

(2025 山梨大会)開催要項

大会テーマ

すべての子どもをあたたく包み込む地域づくり
～互いに尊重し合うつながりを土台に～

開催日時

2025年 8月 23日(土) 13:00～16:15(現地・オンライン併用)

24日(日) 9:30～15:30(午前:現地のみ/午後:現地・一部オンライン併用)

※期間中「病弱教育の主人公たち」作品展開催

場所 都留文科大学(山梨県都留市田原3-8-1)

大会実行委員長あいさつ

第17回全国病弱教育研究会山梨大会実行委員長

佐藤比呂二

(全国病弱教育研究会事務局長・都留文科大学特任教授)

「病弱教育の話をしたい!一緒に学び合いたい!」

そんな熱意溢れる山梨の病弱特別支援学校の先生からの呼びかけから始まった自発的な学びの集いに参加させていただくようになったのは、私が都留文科大学にお世話になってしばらくした頃のことです。その集いの場が、病弱教育に限らず県内の特別支援学校や学級、医療、行政、民間教育団体等の方々とつながりを結ぶきっかけになりました。ざっくばらんに子ども達への思いを語りあう時間は、なんとも言えぬ温もりに包まれ、時間を忘れ心を解放できるひとときです。この集いのメンバーの多くが本大会を支える実行委員を担って下さっています。

山梨には、医療・教育・福祉・行政が一体となって子どもを支える「山梨県子どものこころサポートプラザ」があります。児童心理治療施設が特別支援学校と共にあるのは全国で初めての取り組みです。ここで、医療の立場から教育とも深くつながり、子ども達のために尽力されている後藤医師、金重医師が本大会実行委員に加わっていただけていることに、この上ない感謝と心強さを感じています。

病弱単独校である富士見支援学校のセンター的機能は、相談活動はもちろん、必要とあらば学校に出向き、共に考え支えるなど、徹底して寄り添う支援を実践しています。医療関係者からも「センター的機能のおかげで救われた子は数多くいる」と信頼を得ています。また、通称「病弱連携会議」では、県内の病弱特別支援学校、小中学校の病弱特別支援学級の担任、県教委、市町村教委が集い、各校の実態や課題を出し合い連携を構築しています。

実行委員会では、「連携では、医療・教育・福祉・行政が互いに尊重しつつ、それぞれが主役となり対等であることが大切」であり、「病気があっても、発達障害があっても、自分らしく遊び・学び・参加する子どもを育むことを常に心に留めていたい」等の思いを共有してきました。

「すべての子どもをあたたく包み込む地域づくり」という大会テーマには、山梨という地域の中で、長いスパンで病気の子どもの生涯を支えていきたいという思いが込められています。

そんな山梨での全国大会。2025年8月23日(土)24日(日)、都留文科大学で全国の皆さんと一緒できるのが楽しみです。ぜひぜひ。

主催 全国病弱教育研究会

後援 文部科学省、山梨県教育委員会、全国訪問教育研究会、山梨県教職員組合、山梨県高等学校・障害児学校教職員組合、認定 NPO 法人難病のこども全国支援ネットワーク、一般社団法人日本育療学会、全国特別支援学校病弱教育校長会、全国障害者問題研究会、認定特定非営利活動法人ファミリーハウス、公益財団法人がんの子どもを守る会

日程、内容(予定)

8月23日(土) 現地・オンライン併用
12:30～ 受付開始
13:00～ 全体会 実行委員長あいさつ
13:15～ “朗読・つなぐコンサート”
13:35～ 休憩
13:45～ シンポジウム
16:15 1日目終了
18:00～ 交流会

8月24日(日) 現地・一部オンライン併用
9:00～ 受付開始
9:30～ 分科会(現地のみ・オンライン無)
12:30～ 昼食休憩
13:30～ 基礎講座・実践講座 (内容によりオンライン併用)
15:30 閉会(各会場毎に終了)

<朗読・つなぐコンサート>以下、敬称略

出演者:伊藤瑞葉(院内学級経験者)、中野克子(保護者)、方壁理佳(元教員)

大会期間中、「病弱教育の主人公たち作品展」を開催します。病気と闘いながら、自分と向き合い、友達や教員と共に学んだ子ども達の思いが伝わってくる作品展です。また、初日に院内学級経験者や保護者、元教員による「朗読・つなぐコンサート」を開催します。子どもたちの作品の朗読や演奏など、ぜひ聴きにいらしてください♪

<シンポジウム>

テーマ「すべての子どもをあたたく包み込む地域づくり～互いに尊重し合うつながりを土台に～」

シンポジスト：後藤裕介(山梨県立こころの発達総合支援センター 所長)

上村拓治(山梨県立子ども心理治療センターうぐいすの杜 所長)

佐野智子(山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園教諭)

星野麻衣子(山梨県立富士見支援学校教諭)

遠山和宏(山梨県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課 副主幹・指導主事)

司 会：石原寿美枝(元山梨県立富士見支援学校コーディネーター)

<分科会> 現地のみの開催

テーマ	趣旨・内容	助言者
【第1分科会】 精神疾患・発達障害のある子ども達の教育実践	精神疾患は病弱教育を受けている子どもの中で最も多い疾患です。地域の学校には発達障害の子どもが多く在籍しています。本分科会では、医療や福祉、行政と密接につながりながら、学校での丁寧な支援で成長していく子どもの姿がレポートされます。参加者の皆さんの思いや悩みを出し合いながら、支援の在り方について考えましょう。	<助言者> 金重紅美子 (山梨県立こころの発達総合支援センター)
【第2分科会】 センター的機能・小中学校病弱特別支援学級の実践	小中学校の特別支援学級担任は、子どもの支援について悩みながらも日々奮闘しています。センター的機能では、子どもたちや保護者のみならず、地域の先生方を援助しながらチームで子どもを支えることを目指しています。センター的機能の事例を通じて子どもを中心としたチーム支援のあり方を皆さんと考えたいと思います。	<助言者> 後藤裕介 (山梨県立こころの発達総合支援センター)
【第3分科会】 入院中の高校生の教育	義務教育段階と比べると入院中の高校生の教育環境整備は著しく遅れています。本分科会では「入院中の高校生の教育的ニーズ」「そのニーズに応えるための制度的な整備」「そのニーズに応えるための教育実践のポイント」について参加者の間で協議、共有していきたいと思っています。不十分な現状を実際に変えていくためのきっかけとなる分科会を目指します。	<助言者> 栗山宣夫 (育英短期大学)
【第4分科会】 病気の子どもの授業づくり	医療の進歩に伴い病気の子どもの療養スタイルも変化しています。学びの場も、入院中、自宅療養中、通院しながら地元校や特別支援学校・学級等など様々です。それぞれの子どもたちについての理解を深め、つきたい力、大切にしたいこと、教材等を出し合い、授業づくりについて一緒に考えていきましょう。	<助言者> 川池順也 (山梨大学)

<基礎講座・実践講座> 基礎講座・実践講座①②は現地・オンライン併用／実践講座③は現地のみ

テーマ	趣旨・内容	担当者
【基礎講座】 子どものこころの発達とその支援	児童精神科医の立場から、子どものこころの発達の道筋と、発達障害など発達につまずきのある子どもたちに必要な発達支援についてお話しします。 子どものこころの発達の道筋を知ることは、発達障害などの子どもだけでなく、病弱を含むすべての子どもの理解につながると思います。	金重紅美子 (山梨県立こころの発達総合支援センター)
【実践講座①】 心がひらくあたたかな学級づくりー日々の自立活動を通して	院内学級では様々な子どもがやって来てはまた地元校へ戻っていきませんが、短期間の関わりでも、その子が「ここは安全安心な場所だ」と感じられるような活動や配慮をしています。どんな取組をすると子どもの心をひらきあたたかく包み込むことができるのか、実践を紹介していきたいと考えています。	砂澤敦子 (山梨県中央市立玉穂南小学校下河東分校)
【実践講座②】 当事者からの発信「注文に時間のかかるカフェ」の取り組みを通して	吃音は、約100人に1人いるとされていますが、小・中学校等での理解不足のために「からかい」や「いじめ」の対象となることがあります。本当は人と話すことが好きな吃音がある若者が接客業に挑戦するカフェが、この3月に山梨で初開催されました。本講座では、最初に声を挙げた当事者の大学生を招いて、これまで抱いていた思いやカフェ開催に向けて、さらに現在の心境について、ディスカッション形式で皆さんで共有していきます。	川池順也 (山梨大学) 那須友希乃 (当事者：山梨県立大学2年生)
【実践講座③】 子ども達の笑顔あふれるマジック講座♪(現地のみ)	特別支援学校やフリースクールなどで実際に演じて、子ども達に人気のあったマジックをいっぱい紹介します♪ マジックはタネを知るだけでは演じることは難しいものです。何を意識すればいいのか…大事なポイントをお伝えします! 練習の先には“子ども達の笑顔”が待ってますよ♪	佐藤比呂二 (都留文科大学)

参加費

会員:2500円 一般:3000円 当事者・家族・学生:1000円

- ・大会終了後の一定期間、オンデマンド配信(2日目の分科会・実践講座③を除く)をご覧いただけます。
- ・一日のみ、または一部のプログラムのみ参加する場合も費用は同一となります。
- ・当日不参加の場合でも返金はいたしかねますのでご了承ください。

発表申し込みについて

各分科会では、テーマ・趣旨に即し、下記の内容に関わる発表者、話題提供者を募集します。

*応募者が多数いた場合は、時間の関係で発表をお願いできないことがありますので御承知おきください。

分科会	発表内容
第1分科会 精神疾患・発達障害のある子ども達の教育実践	「精神疾患や発達障害の子ども理解」「精神疾患や発達障害の子どもへの支援」など
第2分科会 センター的機能・小中学校病弱特別支援学級の実践	「センター的機能を活用した支援」「小中学校の病弱特別支援学級での実践」など
第3分科会 入院中の高校生の教育	当事者及びその家族の立場からの「入院中の高校生の教育に関する想い」「必要な支援について」など
第4分科会 病気の子どもの授業づくり	「病弱教育で大切にしたいこと」「多様な場での病気の子どもの豊かな教育実践」など

- 1 全国病弱教育研究会ホームページ (<https://zenbyouken1992.wixsite.com/home>)
「2025 山梨大会発表申し込み」または右記QRコードよりお申し込みください。参加申し込みを兼ねておりますので、改めて参加申し込みをする必要はありません。
- 2 申し込み締切は5月31日(土)です。(期日厳守)詳細は追ってメールでお知らせします。



参加申し込みについて

- 1 全国病弱教育研究会ホームページ (<https://zenbyouken1992.wixsite.com/home>)
「2025 山梨大会参加申し込み」または右記QRコードよりお申し込みください。
- 2 申し込み締切は7月31日(木)です。期日を過ぎてからの申し込みは、実行委員会事務局にご相談ください。
- 3 申し込み受付後に事務局より確認のメールを送ります。内容をご確認の上、お知らせする期日までに指定の口座へ参加費をお振り込みください。追って、参加の詳細等のお知らせをメールで送信します。



会場へのアクセス

都留文科大学(山梨県都留市田原3-8-1)

<最寄り駅> 富士急行線「都留文科大学前」駅下車徒歩5分

<https://www.tsuru.ac.jp/site/jouhou/51.html>



宿泊について

今大会では、宿泊の斡旋は行っておりません。宿泊される方は各自でホテル等の予約をしてください。なお、宿泊を希望されている方は、シーズン中で観光客が多い地域ですので、早めの予約をお勧めします

全国病弱教育研究会役員

会 長 齊 藤 淑 子 (元都留文科大学特任教授)
副 会 長 栗 山 宣 夫 (育英短期大学教授)
事務局長 佐藤比呂二 (都留文科大学特任教授)

山梨大会実行委員会

実行委員長 佐藤比呂二 (都留文科大学特任教授)
副実行委員長 後 藤 裕 介 (山梨県立こころの発達総合支援センター所長)

【問合わせ先】

佐藤比呂二 (全国病弱教育研究会事務局長・山梨大会実行委員長)

メールアドレス: 20250823yamanashi@gmail.com

全国病弱教育研究会ホームページ <https://zenbyouken1992.wixsite.com/home>

